



# 議会だより

Vol.109



GIGA スクール構想でのタブレット導入



今後のライフライン整備のため  
新水源地进行調査

## 目次

- 1. 常任委員会現地視察 . . . . . P2～ P3
- 2. 定例会のあらまし . . . . . P5
- 3. 一般質問 . . . . . P6～ P9
- 4. 決算特別委員会 . . . . . P10～ P11
- 5. トピックス . . . . . P12

# 総務・文教常任委員会 現地調査



タブレットの導入により情報収集や学習意欲の向上などが期待される

## 学びを支える 「教室環境」 づくり

私達総務・文教常任委員会では、今回各小中学校のエアコンとタブレットの設置、使用状況を現地調査し、子どもたちが涼しい教室で、のびのびとタブレットを使っている姿を見て思わず笑顔になった。

網戸と水道の蛇口は納品待ちとのこと、まだ設置が終わっていないかった。

上郷小学校のエアコンの排水に不具合があったため改善を求め、その後ギガスクールについて説明を受け、調査を終えた。

(欠端 則夫)

## 空調設備・ICT環境



特殊な形状にも対応できるように配慮されている



様々なご意見を伺い  
これからの教育へつなげる

# 産業・民生常任委員会 現地調査

産する町から交流する町へ町長の唱える町の新たな活性化に向け、観光客誘致・交流人口拡大のため、町が所有する施設に手が加えられています。先人たちが残した貴重な観光資源を廃れさすことなく時宜に合った交流拠点とするため、数々のアイデアが検討されていますが、巨額の予算、未進捗の事業計画等、課題も山積みしており、我々も日夜議論を白熱させ、最善の道を模索しております。

二十世紀は「水」の価値が最も重要視されると言われ、人類の生命・生活に欠くことができないものです。良質な水により健康で文化的な生活を永続的に送るため、水源地の整備・確保は大切です。

町民皆様の生活と暮らしを守るため、行政と議会は同じ視点で歩んでまいります。

(宇藤 大介)

## 新たな観光拠点 として活用

### ロジカウベル・創遊村



宿泊施設としてだけでなく、イベントでの利用などが見込まれる

### 新水源地



新たな水源地として調査が行われている

## 議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 尾形憲男委員  
欠端則夫委員 北田騰委員

### 協議

○実施日 8月18日  
8月30日開会の令和3年田子町議会第3回定例会の議事日程等について。

### 議会広報編集委員会

○実施日 7月5日  
議会日より第108号の発行に向けて、内容確認、誤字・脱字・レイアウトについて校正を行いました。

○実施日 8月18日  
議会日より第109号の発行について、掲載内容と原稿を作成する担当者を決め、10月21日の発行を目標に作業を進める。

## 総務・文教常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 宮村尚哉副委員長 椛本義見委員  
山崎美代志委員 澤口勝委員

○実施日 8月30日  
教育課

上郷小、清水頭小両学区の世帯を対象に実施した小学校アンケート調査結果について、学校配置の検討の必要性や問題点等について報告を受け、今後は教育委員や保護者、地域住民との意見交換や懇談を実施していきたいと説明があった。

### 総務課

今年度の職員採用に係る状況説明や9月補正予算の内容説明、個人番号関係の条例の一部改正内容と機構改革について説明があった。

### 政策推進課

新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、相米慎二監督映画祭りは来年度へ再延期し、代替行事を検討中と説明があった。

### 住民課

にんにく盗難防止の実施状況について説明があり、9日間のパトロールを実施したと警察への被害報告の届け出は無かったとの説明があった。

### 税務課

ふるさと納税については、令和2年度実績が確定し、寄附件数で4135件の増、寄附金額で5135万2千円の増となっている。

## 産業・民生常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長 尾形憲男副委員長 蹴揚清人委員  
北田騰委員 澤口勝委員

○実施日 8月4日  
診療所・老健施設

運営状況について説明があり、委員会からは看護師不足となっている原因について質問が出され、募集しているがなかなか採用に至っていない状況の説明があり、引き続き町当局と協議していく。

### 地域包括支援課

新型コロナウイルスの接種状況は、65才以上で約91%、64才以下では約80%が接種し、今後は未接種の方と中学生を対象とした接種を、新たに計画している。

### 住民課

地域にぎわい商品券配布事業は、全町民を対象とし、10月下旬を目途に実施する予定で、75才以上の方には昨年と同様に敬老会の中止を考慮した分の上乘せを行い、配布する。

### 建設課

世紀越えトンネルの具現化は、今年度の要望活動及びバイパスルートの現地踏査や、青森県において道路の利用特性分析調査を実施する旨の報告があった。

### 産業振興課

にんにくの振興開発について、現在進めているオリジナル品種の種子事業に係る収穫状況などについて説明があった。

### 農業委員会

今年1月から7月までの農地移動の実績報告について説明があった。

# 令和3年田子町議会第3回定例会あらかし

令和3年第3回定例会が8月30日(月)から9月7日(火)までの9日間の会期で開催されました。

8月30日には諸般の報告、陳情審査の報告、陳情の採決、議案の上程・説明がされました。

8月31日の一般質問には3名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

9月2日には、決算特別委員会が7日まで開催され、一般会計から特別会計決算について認定がなされました。

同日、議案の審議が行われました。

9月7日には人権擁護委員の候補者の推薦、意見書(案)の提出、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。

同日、追加日程として議案11件上程され、報告1件・議案11件、認定1件が承認・可決・認定となりました。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果
報告第11号	専決処分した事件の報告について (田子町国民健康保険条例の一部改正について)	原案承認 (賛8・否0)
議案第35号	田子町課設置条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第36号	田子町個人番号の利用に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第37号	田子町手数料条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第38号	三戸地区環境整備事務組合理約の一部変更について	原案可決 (賛8・否0)
議案第39号	令和3年度田子町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決 (賛7・否1)
議案第40号	令和3年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第41号	令和3年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第42号	令和3年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第43号	令和3年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第44号	令和3年度田子町水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛8・否0)
認定第1号	令和2年度田子町各会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 (賛8・否0)
議案第45号	令和3年度田子町一般会計補正予算(第4号)について	原案可決 (賛8・否0)

※議長は採決には加わりません。

# 一般質問

9月定例会では8月31日に一般質問が行われ、  
**3人の議員**が町政について質問をしました。  
 内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。  
 T C Vでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

## ○欠端議員・・・P7

- ・田子町における医療、食事、職業、住宅について

## ○山崎議員・・・P8

- ・新型コロナウイルス感染症対策関係について
- ・農業振興について
- ・後継者の育成について
- ・古民家（茅葺き家）などの施設について

## ○尾形議員・・・P9

- ・産業としての観光について
- ・公営の住居、住宅について

**質** ……質問      **答** ……答弁

## 一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を聞いた上、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

# 田子町における（医療、食事、職業、住宅）

## 看護師不足について

**質** なぜ当町は選ばれないのか。

**答** 我が町は、地理的特性からすると末端に位置しており、車での通勤が第一番に挙げられる。それ以外の通勤は、非常に困難であるということが要因のひとつで更に、現代の若者は、ライフスタイルに見合った都会的な地域を選択する傾向にあるということが、最も影響しているのではないかと考えられる。

**質** 当町では常勤の医師2名を確保している。どのように確保してきたのか。

**答** 様々な方面から情報収集し、田子町に由来のある方への直接的なアプローチし確保に至っている。

**質** 看護師の他病院や県等からの派遣などは考えられないか。

**答** 全国的な看護師不足であるため、他の医療機関からの派遣は難しいものと感じている。しかし、様々な可能性について、検討していきたいと考えている。



地方では同じ問題を抱えている

## 当町の仕事について

**質** 当町において、新たな仕事を見つける努力はしているか。

**答** 産業振興を推進する上で労働力確保の観点から海外からの人材確保や、雇用創出の観点からは新たな企業誘致についても、我が町単独では難しいので近隣市町村と協力し重点的に取り組み、さらに産業振興を図るべく、各種施策により関係人口、交流人口の増大により生み出される仕事をしっかりと見定めていく。

**質** 田子町への企業誘致などはどう物事は進むのか。

**答** 二通りあり、誘致については県の方でも窓口があり紹介して

くれる。当町では問い合わせに対して時期を逃さず対応することが一番大事なことと思っている。それから地域の企業を育てていくのも大きな方法である。しかし、人を集めることが大きな課題です。現状では当町にある資源を使って商売している現地企業の参画が最も現実的だと思います。

**質** 仕事は地場産業が一番いいが、その他の情報を得るためにも県庁へ訪問して顔つなぎなどはしているか。また、町から情報収集の指示を出したことはあるか。

**答** 前段については県庁に行きましたら用事がなくても関係各所に顔を出して、いい話があれば活用しようという心がけています。職員についてはこの目的のためとはなかなかで

きないので県庁へ行った時には関連するところとしてお話ぐらいは出して欲しいと思っていますが、現状では目的がある仕事で何うので、難しいと思います。



これからの田子を考え、積極的に取り組んでみたい



山崎 美代志 議員

新型コロナウイルス  
又感染症対策最新  
情報、状況について

**質** 町独自の経済支援策として商工業者や農業者などへの現在の支援状況と今後における新たな支援事業を考えているのか。

**答** 商工業者等支援状況については、令和2年度に延べ315件に対して支援を実施し、農業者支援については、対象者537名のうち申請者は410名で、さらに、この内で10%以上収入が減少した方は、225名となりました。なお、今後における新たな支援事業については、昨年

農業振興について

度も実施した町民の安定した生活を取り戻すための支援策として、地域商品券配布事業を10月下旬には実施したいと考えている。

**質** にんにく・たっこ1号・美六姫の販売戦略などの課題と展望について伺いたい。

**答** たっこ1号の種の販売が伸び悩んでいる要因として、生産者からの聞き取り調査の結果、成長が良く肥大はするが「球割れ」や「おんぶ症」の発生が多いことが上げられている。このことを受け、一昨年からの農業普及振興室や青森県産業技術センター野菜研究所と共に栽培試験を実施しており、従来

後継者育成について

方が「球割れ」や「おんぶ症」の発生が少ない傾向がみられている。引き続き栽培試験を継続し、生産者が安心して栽培できる品種特性を把握し、たっこ1号の普及を図りたいと考えている。また、販売促進の現状については、令和元年度から一般財団法人田子町にんにく国際交流協会による統一販売としている。現在、美六姫生産者の会では、ブランド化に向けて、新たなパッケージの試作を始めるなど、販売活動も進めている。

**質** 農業の担い手・農業後継者対策における課題と展望について伺いたい。

**答** 課題については、現在営農の中心で

古民家(茅葺き家)などの施設について

ある親世代が抜けた後農家戸数の減少や後継者がいる世帯でも労働力不足が生じること、これに伴い優良農地の維持が困難になっていくことが予想されることから、早期の地域の中心的な役割を果たす農業後継者の確保・育成が求められている。今後は、組織化への意向が最も多かった石亀地区をモデル地区として、農業後継者や新規就農者の育成の新たな仕組み作りや共同化・組織化などへの誘導を行うなど、人づくりと農地維持対策を実施するため、地域と共に課題解決に向けた話し合いを進めながら、この実践を踏まえたうえで、田子町全体に波及させていきたい。

**質** 古民家(茅葺きの家)及びロジカウベルの今後の改修計画とそれぞれの施設利用や、それぞれの経営者、運営者について伺いたい。

**答** 旧民俗資料館については今年度は外構等改修工事、令和4年度は中央広場駐車スペース整備等を想定し、経営者、運営者については、現時点では田子町観光協会へ依頼したいと考えている。次に、タプコプ創遊村2棟の茅葺きの家については令和4年度以降、茅葺き屋根の葺き換えや土壁の改修工事を想定し、昔ながらの古民家を活かした宿泊できる施設として整備し利用していきたい。経営者、運営者については、大黒森施設の指定管理者に依頼し、詳細については今後協議の上、実施していきたい。

のロジカウベルについては、屋根の改修や外壁などの改修を想定し、利用者については、田子町を中心とした十和田湖周辺の周遊型観光の拠点と位置付け、町外からの来訪者の受け皿となるべく、宿泊営業を開始したいと考えている。また、各種団体の合宿受入や企業の保養・研修の場としての活用も視野に入れ、多方面へのPRを積極的に行いながら利用者の獲得に努め、イベントや各種会合の場など、新たな交流の拠点施設として活用できればと考えて、経営者、運営者については、タプコプ創遊村2棟の茅葺きの家同様に、大黒森施設の指定管理者に依頼し、詳細については今後協議の上、実施していきたい。





尾形 憲男 議員

産業としての観光業  
について現状と今後の  
計画について

総合戦略の最終年度である令和6年度は観光入込客数を8万4千人に設定しています。

**質** 主要な3施設（資料館、ロジジカウベル、創遊村）（古民家再生事業含む）の活用方法、意義と必要性について。

**質** コロナ前と今、そして今後の計画を数値で示せ。

**答** 令和2年3月に策定した田子町総合戦略では、令和2年度から令和6年度までの計画期間のもと、町内の主要観光施設に位置づけているタプコプ創遊村、ガリーリックセンター、みろくの滝、229スキーランド、4施設の間入込客及びイベント等来訪者は、令和元年度では7万4千242人、令和2年度はコロナ禍の影響もあり対前年度比32%減の5万524人となり、

古民家を活かした宿泊ができる施設として整備し、運営方法はロジジカウベル同様に大黒森施設の指定管理者に依頼し、実施していきたい。また、意義と必要性については、町全体を活性化する仕組みのひとつとして、滞在型観光を創出し推進することにより、関係人口、交流人口を増加させ、町の産業や企業等の所得向上に繋げていくことが重要であり、起爆剤となり得る要素が多分にあることから町の将来に向けた推進すべき施策と考えている。

**質** 運営主体の観光協会と協議するところか、何時頃を予定しているか。

**答** 民俗資料館の活用については、チャレンジショップ出店など、多目的に活用でき、田子町の観光を近隣市町村の情報もあわせて提供できる体制を構築し、運営方法は田子町観光協会と協議の上依頼したい。ロジジカウベルは、田子町を中心とした十和田湖周辺の周遊型観光の拠点と位置付け、町外からの来訪者の受け皿となるべく、宿泊営業を開始し、運営方法は大黒森施設の指定管理者に依頼し、協議の上、実施したい。次にタプコプ創遊村の活用方法は昔ながらの

**質** 民俗資料館の完成予定は。

**答** 12月にオープンを目指しているのであるべく早めに運営形態も含めて協議したい。

**答** 今年度の12月オープンを目指している。

**質** 早く協議して利用方法や方針をしっかりと固めていただきたい。また、当町の玄関口として足を運んでもらうための具体案はあるか。

**答** 具体的な案は現状まだないが、観光協会で自転車による町内を回るコースを作っている。一緒に活動しながらプラスチックやフア民俗資料館の方を起点という形で協議していきたい。

**質** 周年を通してどう利用していくのか、季節限定だと価値が半減になるので一年を通じた活動をどうするのか計画をしっかりと立てないと宝の持ち腐れになる。また、説明の中では新幹線で二戸に降りるとしているが、二戸からどうやってくるのか等、首長レベル

**答** 屋根や外壁等の補修があり、そこが終了次第の宿泊開始となります。その前に使える部分は宿泊ではなくて研修などで使えるような形で令和4年度以降はできるだけ使って行きたいなと思っています。状況を見ながらテスト的な宿泊も考え正式になると令和

事務レベルで検討しているのか。

**答** 首長レベル、事務レベルでも連携を取り合いながら、広域的に盛り上げていくと協議している。

**質** ロジジカウベルと創遊村の観光の入込客数が令和6年については8万4千人程度の目標としているが、目標数値が低いと思っ

**答** 具体的なものを提示できるようにお願いします。ロジジカウベルの宿泊はいつから運営できるか。

5年で考えているところですか。

**質** 田子創遊村の古民家再生事業について施設の運営面ではこれから課題があると思

**答** 古民家については二つの経費のかけ方で整理しています。一点はこの施設を今後活用し続けるための耐震補強や経年劣化に対する対応整備です。二点目はこれを活用して様々な活性化に取り組みたいこととです。しっかりと方向性が定まった話し合いをして確定してきたいと思

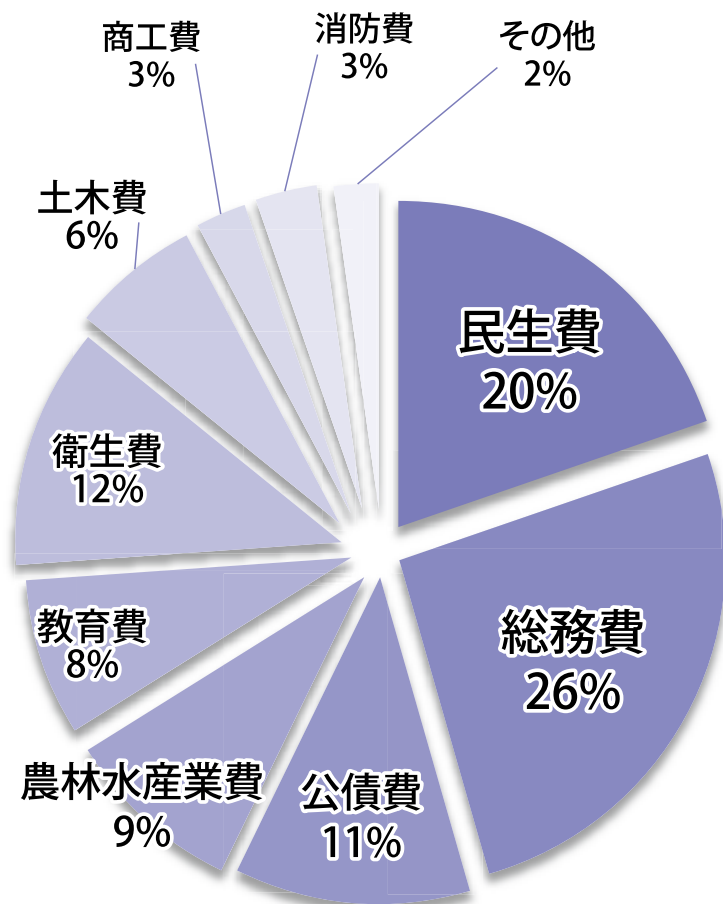
います。状況を見ながらテスト的な宿泊も考え正式になると令和

# 年度決算を認定 前年度対比で自主財源が低下

## 一般会計 歳出

歳入総額：51億8268万円

項目	令和2年度		
	決算額(千円)	構成比	前年比
民生費	1,029,187	19.9%	104.3%
総務費	1,342,724	25.9%	165.6%
公債費	599,560	11.6%	97.5%
農林水産業費	457,231	8.8%	72.0%
教育費	410,764	7.9%	117.6%
衛生費	615,451	11.9%	141.5%
土木費	324,027	6.3%	90.3%
商工費	135,116	2.6%	98.3%
消防費	157,527	3.0%	104.5%
その他	111,097	2.1%	11.2%
合計	5,182,684	100.0%	94.7%



## 主な歳出について

### 公債費

町債として借りたお金の返済など

### 衛生費

予防接種、検診などにかかる費用

### 総務費

国際交流や主な庁舎の維持管理、様々な政策にかかる費用

### 農林水産業費

農畜産業支援や産業振興などにかかる費用

### 土木費

道路や橋の整備や維持などにかかる費用

### 民生費

社会福祉や子育て支援、定住移住政策などにかかる費用

### 教育費

給食や小、中学校、文化財の保存、活用などにかかる費用

### 商工費

観光振興や施設の維持管理などにかかる費用

## 令和 2 年度決算審査特別委員会

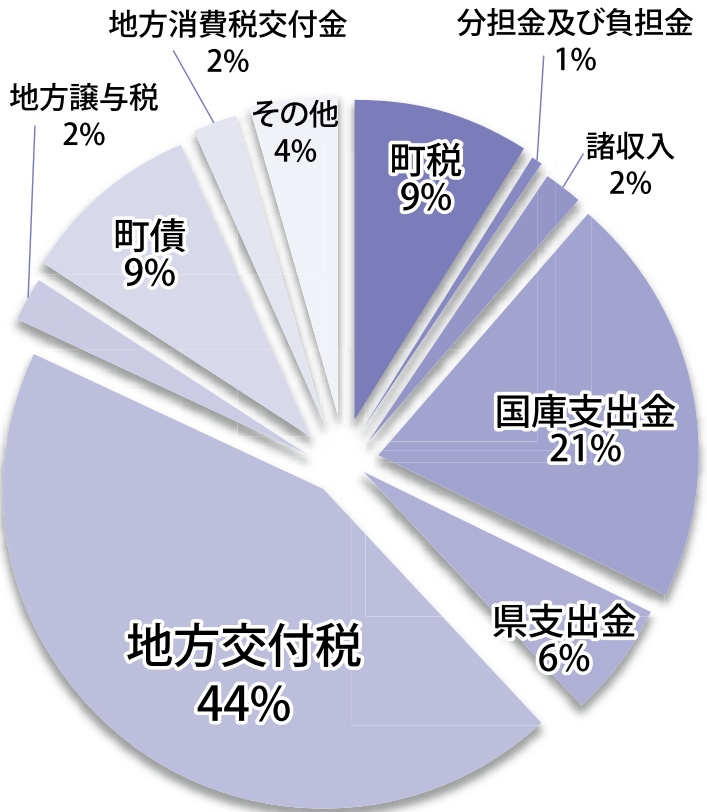
### 一般会計 歳入

※自主財源と依存財源とは???

○自主財源：町が自力で収入できるお金

○依存財源：国・県などから、交付、割り当てられるお金

歳入総額：53億1250万円



財源	項目	令和 2 年度		
		決算額(千円)	構成比	前年比
自主	町税	484,269	9.1%	100.5%
	分担金及び負担金	34,276	0.6%	78.6%
	諸収入	93,372	1.8%	69.4%
依存	国庫支出金	1,102,892	20.8%	202.1%
	県支出金	318,578	6.0%	115.8%
	地方交付税	2,332,441	43.9%	105.2%
	地方譲与税	104,537	2.0%	111.8%
	町債	500,500	9.4%	118.1%
	地方消費税交付金	116,448	2.2%	122.8%
	その他	225,192	4.2%	65.1%
合計	5,312,505	100.0%	114.1%	

自主財源	611,917	12.0%	62.4%
依存財源	4,475,396	88.0%	121.9%

決算審査意見書  
(要旨)

令和 2 年度田子町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算書に基づき、関係諸帳簿及び証拠書類等を照合した結果、一般会計及び特別会計とも、新型コロナウイルス感染症対策等にかかる事業の影響による増減はあるものの予算の執行については、効率的かつ適正な執行が行われていることを確認し、事業の執行についてもおおむね良好に進捗しており成果が認められました。

収入未済額においては、歳入全般で減少傾向にあります。しかし、町全体の会計で見ますと、依然として収入未済額は大きな金額となっており、滞り、納整理の推進と県市町村総合事務組合との連携を一層強化し、徴収の効果を上げるとともに適正な欠損処分処理を望みます。そのためには、庁内の連携は勿論のこと、情報収集等に努め、より一層の協力が必要と思われまます。

次に、歳出面についてであります。自主財源等の減少が進むなか、年々厳しさが増す昨今でありますので、健全かつ着実な財政運営を図るべく、歳出の抑制に努めなければなりません。特に他団体への補助金交付については、補助金交付申請書並びに決算書の精査を綿密に行い、適正なる交付を望むものであります。

特別会計に係わる事業運営は、一般会計から繰り出し金を軽減するためにも、保健福祉事業等に力を入れたり、施設・備品等の適正管理など創意工夫に努力することを望みます。

以上をもちまして、令和 2 年度の決算審査報告といたします。

田子町監査委員

高沢 靖直  
北田 騰

# 三戸地区環境整備事務組合 新・三戸地区葬祭場



- 施設の所管：三戸地区環境整備事務組合構成町（南部町、三戸町、田子町）
- 所在地：青森県三戸郡三戸町大字川守田字大久保58-1
- 休場日：1月1日および12月31日
- 火葬時間：1日4件（9時、11時、13時、15時）
- 葬祭場使用料等：詳細につきましては、組合のホームページ、または事務局までお問い合わせください。



赤い枠線がペット葬祭場の予定地となる

三戸地区葬祭場は、令和3年3月に完成し、令和3年4月から利用可能となっております。簡単な概要といたしましては、十分な駐車場スペースを確保し、2基の火葬炉があり1日に4件まで申込可能となっております。今後は、葬祭場敷地内にペット用の葬祭場を建設する予定としております。

（宮村 尚哉）

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響により、普段から緊張感をもって生活しなければならぬ状況ですが、新たな挑戦など明るい話題も聞かれるようになっていきました。新しい生活様式や日常の変化に対応しつつ、活気があり、笑顔があふれる田子町を目指して当局とともに邁進していきたいと思っております。

（北田 騰）

### 発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

（109号）

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 尾形 憲男

欠端 則夫

北田 騰

### 執筆協力

高沢 靖直

山崎美代志